

2022年度 高齢者の年金・保健・医療・介護・福祉・就労の充実を求める 自治体への要請書の作成に当たって

地域の高齢期要求をまとめて、区市町村に要請する行動に取り組みましょう。

要請書は、高齢者の要求を集約して地域ごとに作ることを基本にします。

- (1) 要請書を作るにあたって、重視したい観点について、下にかかげます。
- (2) なお、一昨年作成した「ひながた」を簡単にしたものを東京高齢期運動連絡会のサイトに掲載します。必要な場合は参考にして下さい。
- (3) 各地域で作成した要請書を交流し、おたがいに参考にしましょう。提供いただいた自治体要請書は東京高連のサイトに逐次アップします。

要請書を作るに当たってたいせつにしたい観点

(1) 高齢期の孤立

高齢期の孤立の不安は深刻なものになっています。地域の高齢者の要求に基づいて自治体として孤立の問題に危機感をもって取り組むことを求めましょう。

(2) ケアと暮らしの困りごと

医療、介護、認知症対策など必要なケアについて、またそれらを利用する費用について、高齢者はそれぞれ多くの困難や不安をもっています。地域の高齢者の要求を基礎に自治体に要請しましょう。

住まいの問題、交通の問題、買いものや町での行動の問題をはじめ、高齢者は暮らしに関わる多くの困りごとをかかえています。地域の状況に応じて要請を行いましょう。

(3) 生活を維持するための収入の不足について

貧弱な年金制度のもとで暮らしがなりたない高齢者が増えています。権利としての生活保護、生活のために働く高齢者の就労の確保、労働安全衛生などに関して自治体の施策をすすめること、高齢者の最低限の収入の保障について自治体として可能な施策を追究すると共に国や都に対して要請するよう求めましょう。

各地域の要請に取り入れましょう

(1) 補聴器に関する要求

補聴器の補助を求める団体、地域の運動が進み、23区では15の区で三多摩では三鷹市、島嶼では利島で制度が実現しています。全ての地域に広げ、進んだ区の実績をテコに充実させていくことに全地域で取り組みましょう。

(2) 就労に関する要求

建交労は、生活のために働く高齢者の就労確保のために活動する団体への随意契約による仕事の発注などを求めています。建交労の自治体要求（別紙）を地域の要求に取り入れて一緒に取り組みましょう。